行

発

洛星新聞局

京都市北区小松原南町

FAX (466) 0777 印刷/制片桐軽印刷

るにあたり、長年過ごして

果立って行きます。 卒業す れ親しんだこの学び舎から

> 学校行事においては、時に クリスマスタブローなどの

晴れて卒業の日を迎え、

私たち四十八期生は今日

ます。特に文化祭、体育祭

さた洛星に別れを告げるこ

## You are the salt of the earth and the light of the world.

生活を通じて、神からいた たいと思います。 生という学び舎から、 新し 官さんへ期待の言葉を送り ります。皆さんは今日、洛 らりにおめでとうと申し上 社会へと巣立っていきま 皆さんは、洛星での学生 門出にあたり、私から

48期生の皆さん、ご卒業 わめでとうございます。学 を代表して皆さん一人ひ から感謝申し上げます。 式を挙行できますことを 護者の皆様のご臨席のも 様を始め、ご来賓の方々 第48回洛星高等学校卒

の高い教育を行ってきたと

いえます。授業を通して、 またクラブ活動、

用することが出来るのです。

その意味でも、洛星は、質

のできる人になっ 痛みに気づくこと さを知る人になっ 2つのことをお話 て二つ目は「人の てください」そし つ目は「学ぶ楽し を得ることができました。 してきました。 とで、かけがえのない財産 な体験を積み上げていくこ に積極的に取り組み、貴重

知識の習得の上に うことでした。ま ことの学問を修め てください」とい 学校行事などの自 豊かだったと思い を知っています。 主的な活動を通し でに受身の学習だ て、考える機会が ことのできな けでは決して得る 「自ら学ぶ喜び」 皆さんはす

洛星の卒業生が、 き上げてきた文化を受け継 世の中は、すぐ役 があげることを求 立つことや、成果 残念ながら、今の

ての後も在校生、 教職員、 保護者が列席す る厳粛な空気の下、卒業証書の授与、 総代田村和也君による送辞、卒業生総代 を経て卒業式を終えた後、第四十八期卒 剛裕資君による答辞と続いた。 全ての行 平業式式 洛星での思い出を胸に、



手となってほしいと願って されるのではなく た自分自身を見つめること そのためには、目をしつ

きなのか」を見つけ、それなのか」また「何をなすべ む、それぞれの場所で、 目を養い、一人ひとりが准 を自覚して生きていってほ がどういう人間なのか」 しいのです。真実を見抜く 埋を探求する人であり続け 「自分のやりたいことは何

を吹き入れられた。人はこ

ます。それは、文化や文明 キリストが示された生き方 の教えを学んだ皆さんは、 幸せのために努力する人は 自分や家族の、この世での ならない大切なことがあり 少なくないかもしれません。 が発展したことによる成単 に使うのかということです た社会的地位を、何のため ここで、決して忘れては 磨いた能力を、また得 洛星で、 キリスト 卒業生の皆さんへ、マタイ You are the salt of the による福音書から次の言葉 この後、卒業証書とともに earth and the light of the world.

中の、特に困っている人 にならい、神からいただい の光です」という言葉です。 塩は食べ物に味をつける上 れた「あなたは地の塩、 イエス・キリストの語ら なくてはならないもの

込んだ日々であったと言え を開き、新たな世界へ足れて、まだ見ぬ未来への とに惜しみない努力を注ぎ なる高みへと導いていくこ またそれによって自らを更 る才能を遺憾なく発揮し、 野み入れて行くことへの で 人一人が自らの持ってい 洛星高校での三年間は、 う経験。これらの得たもの

ために使ってほしいのです。 人を形づくり、その鼻に息 のように記述されています。 とを忘れないでください。 せて創られた存在であるこ の愛ゆえに、神ご自身に似 私たちは、神に愛され、 主なる神は、 土のちりで

の息が宿っている存在であ 力を備えた人になってくだ うか、兄弟姉妹に喜んで奉 り、一人ひとり、神に愛さ は、私たち人間は、同じ神 とあります。このみ言葉が うして生きるものとなった」 仕することのできる、 なのだということです。ど れ大切に創られた兄弟姉 私たちに伝えるもの、それ ます。光は、明るいところ という点です。塩は溶けて でしょうか。私は塩、 えることによって生かされ 食べ物の中に入り、 その効果がはっきり現れる らも自分自身を用いるとき、 ています。一つ目は、どち 働きに2つの共通点を感じ

分な効果があるということ 揮するのです。二つ目の共 の中にいる人に大きな慰め んなに小さな光でも、 は味をつけます。また、ど 連点は、ほんの少量でも十 れることでこそ、 です。わずかな量でも、 むしろ暗闇に置か

た、愛に満ちた世界とは言

えになってくれることでしょ を乗越えるための大きな支 は私たちの礎となり、これ をあげることができたとい 合わせることで大きな成果 超えた仲間は識。日本の枠をと伝えた技術。学年の枠を 先輩から受け継ぎ、後輩へ で数多くの事を学び、 は衝突を重ねながらも、 入れることが出来ました。 へと向かい、その過程の中 んな一丸となって同じ目標 手に

ひを深く感じています。

ファミリーの皆様に見送

保護者、そして多くの洛見 こうして在校生、 とには寂しさを感じますが

各地で頻発

るいかではなく、自分の中 でも、道を見出すことが出 あれば、どんな暗い場所に す。小さくても、心に光が う人がいます。 しかし大切 たします。 暗いと不平を言 なことは、周りが暗いか明 に光があるかどうかなので

の両者に共通するものは何 威力を発 形を変 元を照らすまことの明かり となって輝いてください。 人生は常に順風満ばんと

間がいることを忘れないで 215名という、大勢の仲 の宝です。ここに48期生 さいます。よき友人は人生 きっと神様が応援してくだ て挑戦し続けてください ません。くじけず、夢を持つ 成功だけの人生などありえ いうわけにはいきません。 **業記念留として学園にご寄** この舞台の一文字幕を、卒 いご協力をたまわりました また様々な教育活動に暖か ころからで恐縮ですが、こ におゆだね下さったこと、 ます。また本日は、 だきました。高いと 改めまして感謝申

とだから、自分には関係の 多くの人が、遠い場所のこ 戦争などによって多くの命 世界に目を向けると、生活 を根底から破壊するような ますが、今私たちを取り巻 く状況は受け入れがたいも と 旅立って行くことになり 私たちはこれから社会へ テロとその報復の 生き残った人 者と手を携えて日々精進し す。私たちはこのような理 ちの認識する世界を広げ、 他者への思いやりや優しさ ていきます。 さらなど、飲み込まれても 豊かな感受性、人間性を手 の両方に目を向けることが にすることにもつながりま できるのです。このことは 在校生の皆さんも、 下の立場から見た世界 常に心に留め、どんな

を獲得するよう努力するこ いるとは言えない私たちが ないことだから、と無関心 他者、特に弱者からの視点 を決め、広い視野を持って すから、校内行事をはじめ を得るための絶好の機会で 学校での集団生活はこれら 視野を身に付けてください 間性を向上させ、より広い での生活を通じて自らの人

............ 上の立場から見た世

害によって、苦しむ人、 カを中心として、戦争や災 中、特に、アジア、アフリ や環境問題など、どれも解 なってください。 人々の足 事。 孤独人 好多抱多 いことを私たちは知ってい ンで明るく輝いています。 和であるといわれます。 たちがいます。日本は、 の危険にさらされている人 ひ世界中の、彼ら弱い立場 洛星を 卒業する 皆さん、 た人が大勢暮らしています。 布望に満ちた明かりではな かしそれは、人生を照らす 答は、夜でもイルミネーショ に置かれた人の道しるべと

の教育理念にご共鳴くださ 入学当時のことを思 者の皆様、ご子息の 切なご子息を私ども う。皆様方が、本校 なっておられること られないほど短くお れ、卒業までの日々 おめでとうござい

いました。

ていただきます。 もって卒業生の言葉とさせ 最後になりましたが、私 **申し上げて、これを** -の皆様のお陰です。 なった全ての洛星ファ た先生方、そしてお ることができたのも、 る様々な活動に積極的 生総代 野崎 裕資 七年二月五日 の心からの感謝の気 多くのご指導をして った家族、様々な場 、私たちを見守り育て 今日無事に卒業の日 ることも多く、とても一つ

しか年が違わないとは思え

文字通り、世界中で働いて さんを、洛星から世界中に 卒業式は別れの式です。 ごとして、必要とさ の皆さん、「地の塩、 。同じここ洛星で、 --------がたくさんいます。 トの教えを学んだ仲 る日であると思って 同時に、卒業生の皆 あなた方を待って 洛星の卒業生は、 あなた方を応援し

る場で活躍してくだ まで本当にありがとうござ 皆さんに助けていただいた タプローなど様々な場面で ことは一生忘れません。今 ブ活動・文化祭・体育祭や

平成十七年二月五日 田村 和也

りがとうございました。 厚く御礼申し上げます。 お祈りして、お祝いの言葉 与えくださいますように、 へひとりの人生の上に、 へ、これからのあなた方 最後に、卒業生の皆さん 恵みと祝福を豊かにお

といたします。

卒業、 おめでとう。

おめでとうございます。 の大きさなどには驚かされ の影響力の大きさや存在感 達でした。しかし、先輩達 困った時などにも、相談し さんは最も年が近く 何か やすく、親しみやすい先輩 四十八期の皆さん御卒業

いという身のひきしまる思支えていかなくてはならな 先輩達のような大きな大きす。次は僕達加十九期生が 卒業なさることになり、僕 な存在となり、この洛星を 達は不安な気持ちで一杯で ことでしょうか。そんな皆 く、どんなに心強く思えた 事では先輩から学ぶ物が多 ないほどでした。 特にタブローのような行

そして、時々、我々後輩の どのような思い出がありま又は、三年間の学校生活に 皆さんは発星での六年間 かに留めておいてください。 それらの思い出を胸のどこ てバラバラになられても、 いますが皆さんが卒業され校行事の思い出があると思 すか。おるなり様々な学 していただければ幸いです。 ことや洛星のことを思い出 最後になりましたがクラ

特になし。

井上

拓馬

来る時は来る。来ない時はです。 諸岡 慧一

インフルエンザは風邪では

弓道部とタブローのみんな

すえたかとうむ。。

たのよ!!

かったです

洛星での六年間はまあ楽し

冷静になれば、道は開けま

考え得る最高を常に行う!

りましょう

格好つける前にモラルを守

ボク、勉強しすぎちゃった

南国マジ楽しみにしてるし

やっと卒業です。うれし、

とても楽しい6年間でした。

すべりたくない。

高校生活楽しかったです

推薦入試は体に悪い。を尽くせ初田

天命を待てるくらいに人事

当たって砕けろ!!

者!

ママフゥ二十枚たまったら

福田

員動や!と思ってたら違い

画したぷっすまを今こそ

はない。

落ち着いたら真鶸でも飼い

いまだに手がくさいです

た。

生ものと勉強はお早めに?

本田 治樹

余りに充実した思春期でし 人生はフリースタイル! 秋山 紘学 

クラブ活動が一番楽しかっ モノポライザーぬるぼ 長いようで短い六年間だっ マーシャル、 人生は、 何がなんでもネタ ストラト、フェ 阿古目健志 日野 卓哉 ざいました。 次は何しよかな。

後半だけがんばって! ます。 来年のOB戦、 笑顔があれば何とかなるさ **奉、どうなってるだろう?** た人の勝ち 結局自分がやりたい事やっ 優勝しに来 中村 洋貴 新林 良太 器 授

三年間ありがとうございま

上田 渥史

モウ、ツカレマシタ・・・・・

ルス!見ろ、人がゴミの

長いようで短い3年間でし 遊び遊んだ6年間、我なが 野崎 裕資 立技よりも 予備校で会いましょう≒2

寝技で一本

いそがず、 クラブ活動が一番しんどかっ いだ。気合 気合いだ。気合いだ。気合 らあっぱれ いい学校、いい友達でした。 あせらず、あき 太矣 佐々木仁志 The state of the s

お世話になった皆さんに感

謝します。

世界の北野からこんにちは

陸上部をよろしくお願いし

河瀬まなむ

星感謝したい

友人みんなに

TO NOT

何事も妥協と後悔はしない

ように。

€ 3 6

お前を倒せと轟き

しましょう

葛西信太郎

いいんや!

あっという間の三年間でし

最上 裕生

洛星でよかった?! 城下

た。

村山 雄亮

学問に王道なし

田中 佐

あんなにサボっても卒業で

授った力に見合う義務を果

かった。 が怖いかな 岩永 元気入試の後は手術、そっちの ネタみたいな6年間、楽し うすんの? そういや、 キムニコルは洛星の鏡です。 一年って短いね。 しげるあの壁ど 岩田 石并陽一朗 **裕** うだ……。 よかった。 中森 正也 二十枚使えよ 返事がない。

中村 悠佑

呼る!

早く合格して人間的な生活

終わり良ければ全て良し!

西山ソフト部は最恐でした

きたな。

とことで。

六年間伸び悩んだ成績と身

今頃後悔しても手遅れです

に戻りたい

楽しい高校生活でした。

脚脚

かった。

沿星が僕の 一部になって良

それなりに頑張ったと思う。

ました。 **南 昌孝** 私は君たち2人ほど有名で 最後に勝てば、そいつが勝 お世話になりました。 淳平 …おやすみ 長いようで短い6年間でし 無事卒業できました。 勇気こそ地の塩なれや梅盲 である。 ださい。 む、おはよう: 高音のパートリーダー 人生の最大の動機は「貢献」
たさい。 西岡 恭証 、レー部に入ってあげてくす。 西川 直毅 蜜柑食った 出 真孝 淳也 雷

大学こそはまじめに通おう

なおしたおしやりなおし。

卒業ごわそ。

すように。

山本慎太郎

クソ楽しい高校生活でした。

北風に吹かれて空を飛べ。

富士田真市

から残念!

あなたに。

なんだな。

藤田

そうと思う

ハーバード大学に受かりま

結果はともかく全力を尽く

と思う・・。

春希

桜でも植えようか(いつ頃

なくてよい

高Ⅱまではたいして勉強し

貴也

貫くことだ

北海道に行きたかったなぁ。

咲くのか)

福田貴史

マサシ…

久米井雅彦

てください

この3年間、何だったのだ

高校生活は短かかった

年末文転最強伝説逝きマス

しかった。 服部 景洛星でよかったと思う。

もう野球はホンマにいいでる!↓39 鉄谷 尚士 俺のこの手が真っ赤に萌え もう朝早く起きなくていい んかった 陸部が無くならんといて欲 りました。 先生方、本当にお世話にな はじめの3年間意味わから 将来海外行ってBIGな人間 になる。 しかった。 富岡 油断大敵。

六年間本当にありがとうご

三井

りがとう。

図書館関係者に大感謝、あ

僕は去年、命より大切な人

艮き先輩後輩友達に恵まれ

ミッチーが二人いて紛らわ

充実した六年間だった。

信じ続ければ、

奇跡は起こ

まあまあおもしろい六年間

初志貫徹・一所懸命・克己

由良 富

**影** 佐

ができた。

君 校の成績は頭のよさとは関 係なし!! 宏

遊んで遊んで遊んで遊んだ

あっというまに過ぎました。 幸せは歩いてこない 京都に来てお笑い偏差値が した 上がった。 六年間ありがとうございま 「屁」こきすぎだよ。 藤田 福井偵晃

まだだ!まだ終わらんよ! すよね? 大吉です。

それなりに良かったです。 ける。 死して屍拾う者無し がんばれ田代まさし 息を止めてひたすら唱え続 信じてもいいで 垣岡 知宏

頑張れ 東京へいきたかった。 高校の三年間は実り多きも おもしろく のなり おもしろきこともなき世を 今井 井上 今井 啓太 瑛介

るいはず。 していた。
井川 寛章 短かった。 間でした。 モータリゼー だった

正直スマンかった。

佐藤 信夫 雄輝

誰かこの世の中を変えてく じや、あと任せた。 最後の一年が一番長く一 ションな六年 中井健一朗 

六年間有難うございました。

いろいろお世話になりまし 貀

東大でまってるよ。

ハハハ

探すべし! 陽気発処金石亦透 精神 到何事不成 生続けても飽きない事を 野々村浩之

い。 斯波 宏行を明けの来ない夜なんて無

悠企 裕一や二 どうも、 楽しい想い出がいっぱいで ぬかりなく足を歩めていき 近道よりも、 きました。 爆笑問…それ田中 汗をかく道。 田中 竹内 康人 宋 田中 浩朗 從

どんまいこ。

中野

なんだかんだで楽しい六年 ハハハハハ 来年は斉藤茂吉が出る。 谷本 芳朗 板澤 裕史

色々と。 三年間で色々変わったなあ。 だった。 それをカバディという。 れませんよ 防衛大?国民に銃は向けら 徳田 渡辺 貴大

もう十分です。

Rはもうあてにしない

ポムの店員さんに愛をこめ 目指すは京大のアレキシ・ 勉強より趣味優先、これ重 六年間ありがとうございま ライホ! る。 普段は楽しく、やる時はや 二年間で失った物、 计井 津田智博 津田昌郎 渡辺 賢彦 信用、

卒業?実感ねあ~

久津見 平

ありがとう。洛星。

前元 大輔

敗因は渡米です。

仙石 晃大

遅刻多ずぎた……

駒井 正樹





| クラブと勉強さえしてりや よく学び、悩み、己を高め 十七字に収まる最大の愛を 洛星はランチャーで俺は弾 あと三十二日で大学生! 人におどらされず、 西谷 沢田 信念を 琢馬 幸作

何だかんだ言っても良かっ 部活、勉強など、がんばっ A判定が一つもなかとです 田渕 弘明 高木 悠樹

> 6年間楽しかった。 洛星あ 行をす ますよ りがとう。 6年間 ESSが何らかの形で残り 大学生になったら沢山親孝 長いようで短かかっ うに 永井 遼平 **希**類太 中島大輔

ますに 今思うとあっという間やっ 何事も経験豊富な男になり 俺、今メッチャ温泉行きた あなたが気付くのが遅すぎ ありがとうございました。 楽しかった 良き先輩後輩友人に恵まれ 悔いのないように………。 6年間楽しかった なってる。 上原 昂若い力斉唱は若い力静聴に た気がする 植田 賢幸 いです。 たと思う 何でもない様な事が幸せだっ 渡辺 俊也 塚本 雄大 渡部 祥平 梅崎 直也

最後まで粘ったもん勝ちで 湯浅 隆磨 HRR MINI 

謡曲部を忘れるな!

亩

年で校内順位百三十

なし。 栗山さん まだ終わってはいけない たです。 男子校に3年間行けて良かっ これからも頑張って下さい。 ::2月5日 今頃俺笑ってるんだろうか この六年で、人生変わった 年一位かも 授業中の総睡眠時間なら学 久光孔世留 石川 俊介 遠藤 皓亮 人見 浩介

ああ遠い、通学時間に疲れ 北村 友賢 木村 尚樹 金村俊 きです。 楽しかったです。 6年間学校にひたすら毎日 最後までやりきる 学フンともついにお別れだ。 3次元より2次元の方が好 行きました 小幡 峻平 とかなる。 受験でも何でもたいてい何 西尾 尚己 西

…見るのか? 大矢 やっぱり三年ってみじかい はやく楽しい生活を送りた 6年間 短かいようで長かっ 闇を歩む私は大いなる光を ですね…

はて。

秀逸

高等だ。 小瀧 敬

敬

彼の地目指して、此の地を

大言壮語も実現すれば有言

知るか?

小玉 明広

ありがとう。

ともっと自信を持ってしっ 考え方、そうした事を、もつ ことだと考える事柄、物の

かりと生徒達にアピールし

ますが、何事にせよ、ただ の活動をされることと思い になられます。各々に様々

ろげながらも見通しが得ら

ら繰り返してテキストを読 らと自分に言い聞かせなが

れるようになりました。

しょう。

人だけで物事を成し遂げ

てはくことは重要なことな

自身の高校生時代に培った

達を見守る立場の大人が、

これからの人生に大いに活 ことと思います。卒業後の

かしてもらいたいと思いま

まもなく皆さんは社会人

他方、私を含め、高校生

感性、これはとても大切な

おります。

寺井

た」と思った。 とは〈業を卒る〉ことなの 四十八期の諸君の卒業に 私はしきりと「卒業

強したし、クラブも三年の いのではないかなあ」とい あ、まだ卒業してはいけな なものをすませていないな 共通するのは、「何か大事 り思いだった。 自分の思い出せる 一卒業」 高校時代は生真面目に勉 高校と大学でのもので、 深さに触れ、

ナル』という雑誌が出始め 読んでいた。音楽でも読書 分裂った。詳朝シャー 悔いなく過ごしたといいた た頃で、友人はもうそれを でもずっと大人の世界にい 何を蓄えたのだろうかと自 秋まで結構夢中になった。 人と比べると、自分の内に いが、同じ文学部志望の友 自分に適うものではなかっ がらない。やはり文学部は かりで、自分にとっての必 然的なテーマが太く立ち上 国文学での研究のやりがい 力に自信がもてなかった。 けど、頭の中で思い描くば を具体的にあれこれと思う

600

8

8

原 良仁

がついていくことができて

ます。当然と思っているこ

いないと感じることがあり

自身の信ずるところを私達

に課せられた大切な使命な

のではないかと考えます。

のだと思うのです。

うことが実際、たくさんあ 見えたことと推察をします。 ることができれば、もっと かりと反省しなければと思 至らなかった部分、自らしっ 生徒達には不親切な担任と 私の未熟さも重なり、さぞ、 であろうと思うことがあり もっと丁寧な対応ができた 余裕を持って生徒達に接す

ШC

四十八期生の人達と関わ 追いたてられる一年間で、 象を強く持っております。 とが殆んどできなかった印 落ち着いて物事を考えるこ に関する様々の事柄に日々 振り返れば、受験の準備

率直なところ、もう少し時 間的にも、気持ちの上でも、

知れません。

今の高校生達のそれにあわ ます。物事に対する感覚を、 ところであったように思い

> りお祝い申し上げます。皆 めでとうございます。

あ

会話をしていても、様々な

授業をしていても、日常に らないと実感する場面が、 とが今の高校生にあてはま

の皆さん、随分後ろになっ

この度卒業する四十八期

てしまいましたが、

卒業お

心よ

せなくてはならないのかも

るいは6年間を過ごされ、 さんは洛星での3年間、

有意義な体験を様々された

ですが、特にCクラスの四 私にとっては大変中味の濃 性もよく見えるようになり、 十数名の人達とはそれなり い一年であったと実感して に話をする過程で各々の個 の短いお付き合いだったの をしていなかった生徒達と ゆる場面において全く承知 事を始める直前までは、授 昨年四月、担任としての仕 う間に一年が過ぎました。 りを持ち出して、あっと 課外活動を含め、あら 比べ、世の中の様子が随分 ります。 私が高校生であった頃と その変化に自身

味で自分はもう「卒業」し つつ、大学にいくという意 るようで、自分が酷く卑小 ていいのか、とても不安だっ に見えた。彼に敬意を抱き まだ勉強が続けられると 高一の編入生のガイダンス のために顔を出すことになっ 校(つまり洛星)に呼ばれ ていた。午後一時に二回り ていて、四月から担任する えた」とはいえないなと、 二日。その日は就職する高 たけれど、とても「業を卒 という体験がいくつもあっ 大学の卒業式は三月二十

どの素質はないと分かって、 確かに学問のおもしろさや の作業を始めた。大学では とは別に、研究を続けるほ 大学生活のスタートだった。 私は知的生産を行動化する から考えても最も意識的な ル活動も少しは参加し、今 の講義を楽しんだ。サーク でも四回生になると、願望 いう漠然とした嬉しさが、 教師への道を決めて、卒論 **人格形成期であった。でも** 何人もの先生 とを、地で行ったようなも 門に車で迎えに来てくれた。 ほど年上の先生が大学の正 のである。 出発であり、無理にでも先 に押し出される門であるこ 「卒業」は次なる社会への その後私には卒業はない。

たのが八学年あって、高三 を担当したのは五回、四十 はなかった。複数年担任し ることはあっても、自分が 八期は私にとって最後の 試験を受けて卒業すること 生徒に試験をし、卒業させ 「卒業生」である。不思議

にのだ。青年期でなければ うである。 る久しぶりの「卒業」のよ だ。そしてこれが私に訪れ ぱい思う。でも許された時 ああそうなのか、こうすれ ばよかったのかと、今いっ しい体験をさせてもらった。 のように、この三年間は新 間はあと一年、泣いても笑っ なことに、まるで新米教師 てもそれで私の現役は終り

いたい 自己主張し、 今までの先輩を乗り越えて、 おめでとう! 新鮮な出会 いであったことが嬉しい。 四十八期の諸君、ご卒業 活躍してもら

ШВ 子安 克実

おめでとうございます。今、 48期生の皆さん、ご卒業

私は、これから羽ばたいて いかれる諸君の姿を思い浮

辛抱してくれた諸君に感謝 温かく受け入れてくれて、

ます。恵まれた力を持って

0000

さとを感じながら、日々を 過ごしています。 ることのない、少しの寂し 毎朝朝礼でHR教室に上が かべながら過ごす喜びと、 人学年度が同じで、母校に して洛星に通い始めた年と しくも、私が非常勤講師と 中学からの諸君とは、

しています。

と思いますが、そんな私を 至らないところもあったか 年間でした。34年間で、最 すらに走り続けた怒濤の2 も思い、私も諸君と同じ 兎に角、私自身、 も2年間担任として卒業主 ちで、専任教諭に就いた後 たように思います。色々と も走り回った2年間であっ 分からないまま、ただひた 本当に嬉しく思っています。 で一緒に過ごせたことを、 いう呼び方を少し羨ましく 「洛星の48期」という気持 右も左も

のない私にとっては、そう ~期」 などという言い方

とに、耳や目を覆いたくな 諸君であると私は信じてい 世の中を変えていけるのが、 るようなことが毎日のよう 24 て死ななければ、それは に起こっています。 そんな 死ねば、豊かに実を結ぶ』 粒のままである。しかし、 でもって、社会に役立てて いってください。 『もし一粒の麦が地に落ち (ヨハネによる福音書12: 今の世の中は、残念なこ

徒心得にもある「公共心」 どうかその力を、洛星の生 てくれることと思います。

ШЕ いるからこそ、それを有効 森

ることが出来るとすればと に大きく影響することと思 の立場や思いを理解しよう を皆さんと懐かしく振り返 にしましょう。周囲の人達 かをしつかりと考えるよう あなたに何を求めているの とき、まず、周囲の人達は の人達に求めたい事がある とする態度は皆さんの人生 後に、短かったこの一年 というのですが、これも当 目しました。高校生になっ 時の私にはよくわかりませ た。フロンティア軌道理論 ごそうな発明なんだなと注 当時の私は、ラジオの動作 く」との知らせを聞きまし 7 んかよくわからないけどす 記事に出くわしたには、 をしていましたので、この トランジスターを発明」と 人初のノーベル化学賞に輝 田こて片手に電気回路工作 原理に興味を持ち始め、半 いう記事に出くわしました。 **入学西澤教授、** 中学生のときに、 「京大福井教授、日本

かれてきて、どの分野を履

大学では化学も色々と分

にしました。

修するのにも苦労した思い

ることはできません。多く ならない場面に次々と出く わすことと思います。周囲 の人々の協力を得なければ 00

質を設計する分野になった 的手法により予測したり物 記ではなくて、

> それで、化学系を選ぶこと すかったことがありました。 た。それに加えて、当時は 化学系の学科が最も入りや

た還元反応への展開におい のでした。具体的には、 分なりに考えて実験したも には、光エネルギーを用い ることになりました。さら り、この分野を勉強し続け 量子力学で、半導体工学は このときの電子の移動に関 と、色々と調査しては、 て半導体が必要であったの 量子力学を基にしている する考察で必要だったのが エネルギー)を小さくする の過電圧(つまりは活性化 法として用いた電気分解で ことを目指していました。 (西澤教授) こととつなが がとう になったら、一緒に飲みに

れでも、これは化学におけ

るリクツのところなんだか

という学問分野でした。そ たのが物理化学や量子化学 の私にとって特に大変だっ 出しかないのですが、当時

様々な能力には驚かされ続 とその才能を花開かせてい 素晴らしい力を持っていま は比べ物にならないような けの日々でした。誰一人とっ す。これからも、もつともつ ても、自分の中高生の頃と 洛星に来て以来、 諸君の 己だけの利を考えず、 におめでとう。 す。最後にもう一度、 これからも諸君の後輩を送 り出していきたいと思いま がら、私も負けないように、 の活躍していく姿を思いな 作っていきましょう。諸君 をもって素晴らしい世界を に使ってください。決して

Ш 手塚

めでとう。中3から4年間 たつもりです。4年間の思 止直を言うと、それまでの い出の中で、最も印象深い たが、自分としては頑張っ たこと、うまく行かなかっ の担当でした。うまく行っ 行事での48期生の様子から、 のは高2の時の体育祭です。 たこと、いろいろありまし 48期のみなさんご卒業お

信じています。

また、受験前に偶然入手し 学術用語が目に留まりまし やら「半導体」などの、お た学部案内の冊子の中に、 化学もまんざらではないな 電子工学志望だったのが、 よそ化学らしくない(?) 化学系なのに「太陽電池」 と思うようになりました。 いておられたのを本で読み

が、この反応が光合成とよ いに関係することから、こ 御世話になることにしまし れもやりがいがありそうだ なさそうに見えました。 当初は「半導体」とは関係 還元反応に関するもので、 た。そこでの研究デーマは、 を取り扱っていたところに 究室に配属の際には、 一酸化炭素の電気化学的な 「太陽電池」や「半導体」

ぞれの 当にす より尊

りまし た。その後、偶然から学校 と3年間(担任としては2 し、まだまだ勉強不足であ 対する思い入れはそれなり で教えることになりました 心事項がここにきて目出度 に強かった訳です。 ? 以上のような経験によ 自分の中学生以来の関 た。)このような私 目指す分野で、この た。これからもそれ 子力学や量子化学に つながったのでし しか

上でふさわしい学校であり

続けることを祈っています。

はずです。洛星という学校 実していたなぁ」と思える

そういう思い出を作る

なって、卒業する時、 たことへの後悔も帳消しに うまく出来るかと心配して

担任団の贔屓目といわれる 生の指導、アトラクション なそれぞれの才能を発揮し、 の趣向、白熱の競技にみん デコレーション制作、下級 あることが分かりました。 けてみると、それは杞憂で かも知れませんが、数年来 いました。ところが蓋を開

俊之

ら、それぞれ悔いの残らぬ ますが、諸君のことですかまだ、前期入試が残ってい ようにがんばってくれると これを書いている時点では ともつと理想を語るべきだっ ていたのではないか、もつ 目標を要求することを怠っ して、今まで、諸君に高い の最高だと思いました。そ たと反省したものでした。

きものであっ

たか、ある たか短かっ 間が長かっ

ろしくお願いします。

いは実り多

たかどうか、

校で3年間 身、この学 し、自分自 ます。しか ちだと思い ぞれに今、 たか。それ 考えをお持 そうでなかっ

をやり遂げた皆さんは、本 おります。ですから、それ 敬致します。ご苦労 ごいと思います。 心 かに大変か痛感して を両立させたりする 学したり、 クラブ活動 はるばる通 寒い中遠路 過ごして、 い。ということです。そう すれば、何かをできなかっ この学校で何かをやったと いう思い出を作ってくださ

いただ こざいました。成人 きましてどうもあり 辛抱してお付き合い

200 4年度生に贈る言葉 たった、四十八期生と中学生の別れの言葉です。 Fの記事は大雪で中止になった合同朝礼で行う 1 ... 1 .. 1 .. 1 .. 1

中学生徒会長 新実彰平 来の6年間、あるい ざいます。洛星中学 の度はご卒業おめで んおはようございま 以来の3年 が必要です。これからもよ らゆる場面で、皆さんのカ 下さい。そして、皆さんの さい。まだまだ僕達は、あ を静かに見守ってやって下 あとを追います我々在校生 学園生活を生かし頑張って

悔をしなくてすむように、 るなら、そういう最悪の後 さんに伝えられる言葉があ す。しかし、最悪なのは るのは避けられないことで それを後悔する気持ちにな わってしまうことがあり、 百点満点の学校生活なんて う、強烈で色あせない、 後悔することです。僕が皆 存在しない訳だし、やりた れる思い出があるからです。 れは、僕には友人たちと大 充実してたぞ!」と胸を張っ H M A 高Ⅱの文化祭ですが)とい て言うことが出来ます。そ は「僕の学校生活はめっちゃ いことの中で果たせずに終 きな事をした(具体的には 「何もしなかったなあ」と 六年間を振り返って、僕



の持つ力が伸びるためには りました。そして生徒諸君 として縁あって戻ってまい

いったいどうすればよいで

あろうかと自分の中で試行

に完成したすばる望遠鏡な 年ハワイのマウナケア山頂

ビデオを見せることにより

そのときベストであると考 錯誤を繰り返しながらも、

私は授業の中でこれらの

ない一九九五年の兵庫県南 る火砕流、さらに忘れもし

験のあった母校に理科教師

上げ、雲仙普賢岳噴火によ ハッブル宇宙望遠鏡の打ち する惑星探査、一九九〇年

た学校環境がよかったこと そこで中学高校時代過ごし

なりの結論に達しました。 ないだろうか、という自分

[ヨコノカギ]

16. スピーカーから出る 「キーン」という音の現象。

[タテのかぎ]

21. 19. 竜宮城のおみやげ。 無料。

2. 油を注がれたもの。

キボケ。

思うな」

織田の連合軍が鉄砲を

21. バラ科の木。カラナシ。18. 二十歳になってから。20. ギリシア語で四の意。

しよう。

寝ること。〇〇に就く。

もふまえ、 ちょうど採用試

まったボイジャーを初めと

十一号人類初の月面着陸に

防っ

一九七〇年代から始

にも多くのできごとがあり してきました。私の在職中

一九六九年アポロ

部地震を初めとする数多く

## (4) 退職される先生方

洛星とともに 淵田

年で、まさに伊弉諾景気幕 からフランソワ・アラール 明の年に私は洛星に来まし オリンピックが開催された 西追新幹線が開通し、東京 に。そして、<br />
洛星もこの年 一九六四年は、十月に東

しいと思います。

出ていくにあたり 加藤 寛

り、新たな出発を始めた年

ニクラスから四クラスにな 神父が第三代校長となり、

でもありました。

新過ごしてきました。私がこ

の人生の三分の二を洛星で

それから四十一年間、私

こまでこれたのは、四人の

**怪長先生をはじめとして、** 

上けてくれたり、支えてくれ

との出会いがあり、私を助 多くの先生方や職員の方々

たからだと考えています。

さらには九期生から五十三

**男生までの卒業生、在校生** 

ると、大学生の時代から がこれを達成する早道では これずっと考えていました すればよいだろうかとあれ その後の学生時代にはどう きないだろうか」という漠 この考えを伝え広めること 然とした目標がありました。 エネルギーを得ることはで 「生物の生命活動から何か 自分の中をざっと振り返 教師となり後輩諸君に

のとなりました。

私は洛星で、地学を担当

の皆さんとの出会いも私に

とってはかけがえのないも

どうにもできない自然の力 大きさを知るとともに、私 た。これからも未知の世界 入学した時の初心を忘れず、 地球を大切にしていって欲 達の住む、かけがえのない や自然の素晴らしさ、その などを生徒に示してきまし 未知の世界や人間の力では び皆さんの将来を見守って 来よき社会人として活躍し 励み、心身を鍛練して、将 将来を見すえながら勉学に て下さい。退職後も洛星及 在校生の皆さん、洛星に きました。教師として教壇 う学問を、理科を通じて自 分の身に自分のために勉強 結果として理科の内容が自 徒のために授業をするほど、 生懸命に伝えてきました。 分の中に存在するものを一 していた学生時代よりもつ に立つほど、生徒を考え生 えられる方法にて理科とい しかしある時ふと気がつ

6

9

11

結局研究開発ともう少しダ ことがあって自分はこの先 きていました。このような せで部外者として見守るよ た目標は「バイオ発電の実 が広がったのか、漠然とし 学生時代よりも自分の考え 進もうという決心をいたし ばらの道なのでしょうが、 幾日か迷っていましたが、 どうしたらよいだろうかと 持ちが沸々とわき上がって りもやはり自分自身が研究 おそらく紆余曲折のあるい イレクトにつながる方面に、 いてきていました。さらに、 開発に関わりたいという気 へと明確化し、他人任

5

4

8

が、これから踏み込んでい 質何も開けてはおりません がとうございました。さら ました。 らなる道へ、まだ視界は実 た。この経験を生かしてさ ことを教えていただきまし に生徒諸君にもいろいろな た。関係者の皆様誠にあり 験を積ませていただきまし た、ありがとうございまし には代え難い大変貴重な経 一年間でしたが、他のもの 洛星の教師としてわずか

2

7

10

3



14. 人や物にそなわる様子。 15. 物を書くための冊子。 風格。〇〇がよい。

うわばき。 頭髪を洗うこと。洗髪 ロシア語で魚卵の意 サケ・マスの卵の塩漬 5.

れたもの。 に使う紙。

13. ガラス玉。

6. 試験で不正を行うため 9. 芸術活動によって作ら 4. 東の守り神。 3. 皇室の紋章はこの花。

26. 食品包装用の薄い透明 なフィルム。



ないのか」

俺達は、

なにもかも遅す

したらしい……」

「残念だが、全員無事卒業

「俺達にできることはもう

12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 26 22 23 25

して下さった(特に強敵だっ 引退です。今まで原稿を出 生方を追い回したり、 もんです。高一の終わりに 立てに行くので覚悟して下 い込まれて脳内麻薬たれ流 めたり。あるいは顧問の先 先輩に声かけられて、相棒 んでました。受験生のはず うか当然の帰結というか、 たんですが。やっぱりとい れがあったぞ!!」 次からは後輩が原稿を取り た昨年の高三担任の)先生 楽しいと言えなくないこと してとめどなく笑いながら て一週間逃げ続けたり。追 生に 明日には出す」と言っ やったんですけどねあ。 いつの間にやら首を突っ込 万。お世話になりました。 もない日々でした。 もないような気もしないで 編集したり。今となっては てくれない先生方を追い詰 **査前になっても原稿を出し** 万を問い詰めたり、定期考 刀を開花させて逃げ出す先 原稿を回収に行くと予知能 を巻き込んで始めた新聞局。 に行くととぼけ続ける先生 「大変だ、新聞局にガサ入 さて、私は今回で流石に 思えば長いことやってた ・・・引退したつもりだっ (元局長) 回収

ざれますように!!

大な助けによるものでもあ

気がするが」 行がとうとうばれたらしい」 「もうとうの昔にばれてた 「ああ、どうも今までの悪 「本当かキバ〇シ!」 「なっ、なんだってー!?」

の時期を狙ってたんだろう」 「よく見逃してくれてたと 「高皿生が一気に消えるこ :. とちゃんとします・・・。 さて、 (ドラクエイ魔人)

ているであろう全ての人々 えずこの新聞を読んでくれ に感謝します。 ん、おひさしぶりで

ば

「なら、誰かを留年させれ

編集後記 ぎたんだ……」

(〇バヤシ)

この紙面上でお会いするこ にいま なのに とは多分ない……はずです 行事の写真を提供したり、 定できないような気もしま 校内で姿を見る可能性は否 ……が、長月や師走の頃に いたりしました。名前は紙 微妙な視点からの記事を書 ていた人は何故か予想以上 元?局長の誘いに乗って、 言わずと知れた同級生の 度も出ていないはず 今後も文化祭が3日 ま、いっか。とりあ した(苦笑)。今後、 私の存在に気づい

その分、 作りました。やってみると 稿あつめたりとか、書いた大変なことが多いです。 原 りとか 感激が大きいです。 初めて新聞というものを 終わったあ」という (化称・洛星まにあ) 出来上がった時に 編集したりとか。 (無名の新米)

は結構大変であることがわ かりました。まあ、少しづ この部屋は素晴らしい。 加です。新聞作るの (by &)

に慣れていきたいで

聞をこれからも読んでやっ れからも我々が発行する新 て不安ではありますが、こ てフン達がいなくなっ 生が卒業し、新聞局

かもしれませんが、とりあ から読んでもらっているの 幼稚園児でもできるぞ もしかしたら編集後記 イ、次回からはもつ 『字数数え』!…ヲ (これでも高校生) 今回したこと…そ

蒼 局員 局長 スタ HIIC H I C H I D HIID M 3 C H M 1 A 武藤 富岡 石田 帮

顧問 波多野雅彦 幸祐 潤 影 正吾 一 茂 希

期間中だからです。 らこれを書いてる今は試験 さてピンチです。なぜな

引き受けてくれたステキな 式な部員は一人もいません。 次期新聞局員候補たちです。 そんな廃人野郎の手伝いを いかげんな次期局長候補と 頼りなく、しかも最悪とい をまかされてしまったこの いるのはかつての局長に後 た四十八期生の方たちの多 この新聞はまた、卒業し 現在この「新聞局」は正

ません。その上私を含め皆 聞局には正式な部員すらい 表できる場であります。私 んにお知らせです。 他の部活にも参加している さっき述べた通り、この新 ことが原因だと思います。 ります。 たちはいつでも青春をペン 估は自分の<br />
意見を人々に発 記を読んでくれている皆さ というのは局員不足です。 にかけてくれる青少年をお ため本当に困っています。 〜募集しています。 この部 というわけでこの編集後 以上のことはきっとある 「洛星新聞局は局員を広

そってご来場下さい。チケッ でもあったりします。四月 待ちしております。」 すが、私はオー〇ストラ部 几日にチャリティーコンサー **古動ばっかりしているので** トを行いますので皆さんさ ところで最近は新聞局の

オー〇ストラ部員まで。 トのお求めはお近くの(?) (オンドゥルルラギッ タンディスカー!)